

# 保育経営懇ニュース

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F  
Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 [gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

2024年8月号

No.248

2024年8月9日発行  
全国民間保育園経営研究懇話会

## 経営懇役員リレーエッセイ

### 静岡経営懇の活動をご紹介します 静岡・(福)みんなの森福社会 加藤 朋子

静岡経営懇は、保育所を中心に、こども園・小規模保育事業所・児童発達支援事業所・学童保育所・放課後デイサービスの計25施設(11法人)が加盟しています。

理事長を中心とした法人部会の他、園長部会、主任部会、事務部会、児発部会等の「部会活動」を年に数回、自主的に行っています。これに加え、年に2つの企画、①新規採用者合同研修会(採用3年以内の職員対象)、②学習交流会(役員・園長・主任・事務が対象)を実施しています。これらの企画は、県内を東部・中部・西部の3ブロックに分け、毎年持ち回りで担当しています。

私が所属している西部(浜松地区)は、今年度、「新規採用者合同研修会」を担当しました。6月末の金曜・土曜に開催し、県内26名の若い職員が参加してくれました。

1日目は「エピソード記録の書き方」講習会を元園長が講師となり実施しました。事前に『記録を書く人書けない人(加藤 繁美著)』を。参考図書として読んでもらい、5グループに分かれ各自が事前に書いてきたエピソード記録を読み合い、グループワークを中心に学習しました。

参加者からは、『エピソード記録を書くのは初めてでしたが、改めて見直してみると自分がどういう言葉がけでどう行動するべきかがわかり、このことをもとに次の行動に移すことができると思うので、今後も続けていきたいと思います』という、うれしい感想をもらえました。

夜は、研修グループごとにテーブルに分かれて夕食交流。そこでは西部地区・園長たちによる「じごくのそうべえ」の劇をサプライズ披露。「4・5歳の配置基準改善といいながら、チーム保育推進加算をもらっている場合は適用外とは、保育士の寿命を縮めたによって、地獄行きじゃ!」という、えんま大王のセリフは大うけでした。

2日目は、朝から片道25分かけ徒歩で浜松城公園へ出かけ、ウォークラリーを実施しました。地図を片手にグループごとに各チェックポイントを回り、冷たいゼリー、うなぎパイ、自販機で好きな飲み物、カニパン(浜松銘菓)をもらいながら、浜松城に登ったり、日本庭園で俳句を詠んだり、家康像とグループ写真を撮りました。どのグループも協力しあって、いい顔でゴールすることができました。帰りも暑い中、25分かけて徒歩で、会場の「なのはな保育園」まで帰ったのですが、終了後の感想では『ウォークラリーも協力しながら楽しかったけれど、行き帰りの徒歩の時間、自分たちの園の体制、休憩のこと、残業の有無や保育で困っていること、いろいろ自由に話せてよかった』、『1日目より互いが話しやすくなり、チームワークの大切さを改めて感じた』という声がもらえました。

8月末には、熱海で学習交流会が実施され、東部地区の園長・理事長が企画担当をしてくれます。ここでは毎年、外部講師を招いての講演会の他に、事務部会が「財務分析」を担当します。各施設は決算数字を事前にまとめ、財務状況について現状と今後の展望を発表し、自分たちの財務状況の把握をします。事務部会の担当者は他法人他施設の財務分析結果をまとめて静岡経営懇全体の財務分析コメントを出す、という経験を通じ、事務職の学習の機会となっています。

このように、法人の枠を超えての活動を通じ、ちょっとしたことでも気軽に他法人に相談したり悩みを共有したりできる関係づくりができています。このつながりが孤独になりがちな管理職には大切な拠り所となっています。



ウォークラリー後、浜松城をバックに

## 保育をめぐる情勢

### ●教育・保育施設での 重大事故報告集計を国が公表 過去最多の2,772件

こども家庭庁は、保育所等の保育施設や学童保育で起こった重大事故で、2023年1年間に報告があった件数・内容等についての集計を、8月2日に公表しました。報告の対象となる重大事故は、施設等で発生した死亡事故、および治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病をともなう事故で、人工呼吸器をつける等の意識不明の事故も含む、とされています。

集計によれば、報告件数は2,772件で、前年に比べ311件増加しています。そのうち死亡事故は9件で、前年比4件増となりました。

死亡事故は、幼保連携型認定こども園・幼稚園・認可保育所でそれぞれ1件ずつ、学童保育等で3件、その他の認可外保育施設で3件報告されています。学童保育では2015年の調査集計以降初めての死亡事故の報告となりました。

子どもが過ごす場所での死亡事故や重大事故はあってはならない問題です。事故の背景を検証し事故防止に向けた取り組みにつなげることが重要です。法人・園でも事故防止に向けた研修や職員間での情報共有などのとりくみが求められています。各地の実践・とりくみ等、ご紹介ください。

### ●こども家庭センター設置状況

国は、2024年5月1日時点のこども家庭センター設置状況を7月に公表しました。発表によれば、全国1,741市区町村のうち、876自治体(50.3%)で設置されています。都道府県別で設置済自治体の割合が高いのは福岡県で、98.3%の市区町村で設置しています。次いで多いのが、富山県80.0%、石川県・島根県78.9%、熊本県・大分県77.8%となっています。人口規模別では、人口1万人未満の自治体の設置率が22%と低いのが特徴です。

#### こども家庭センターとは

こども家庭センターは、2022年の児童福祉法改正によって法律に位置付けられました。子育てに困難を抱える世帯が増え地域でも孤立しがちな傾向にあること、その中で児童虐待が深刻化していること等を背景に、母子保健と児童福祉の面から各々行われてきた相談支援を一体的に行う機関である、と説明されています。児童福祉法では、市町村はこども家庭センターの設置に努める、と努力義務として規定されていますが、こども未来戦略では、虐待防止の観点から、こども家庭センターを全国展開することが明記されました。

子育て世帯や保育所等に関わる行政の組織として、その動向に注目しましょう。

## 第56回全国保育団体合同研究集会

### ●熊本で初の合研集会開催 会場に2,000人、オンラインも含め7,200人を超え参加広げる

7月27~29日、第56回合研集会が開催され、熊本会場には約2,000人が全国から集まり

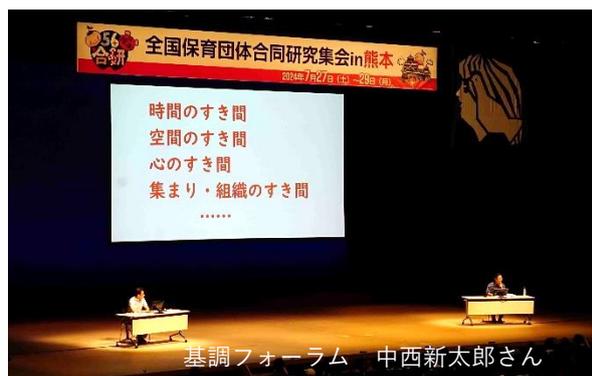
ました。ライブ配信をサテライト会場と一緒に視聴した地域もありました。参加申し込みは7月末時点で総計7,200名を超えています。

翌週の8月3~4日にはオンライン分科会が開催されました。録画配信は8月16日から、9月17日まで行われます。

#### 対面での交流・学びが力に！

この間、コロナ禍により、集まることができずオンライン中心で続けられてきた合研ですが、徐々に実際に集会会場で参加する人が増えつつあります。

初日は、5年ぶりに全国各地からの受付要員が参加者を迎えました。2日目の会場分科会では、23分科会が実施され、経営懇としては、「民間保育園の運営と経営」分科会の運営を担





当しました。

対面分科会については、去年は7分科会のみでしたが、今回は全体の約半数を会場で開催しました。対面分科会は久しぶりということもあり、会場いっぱいの参加となりました。直接顔を合わせて、講演を聞いたり分科会で語りあうことで、具体的な内容だけでなく、元気や活力も得られるようです。

### 自主交流会「園長交流会」を開催

合研集会2日目の企画終了後に、経営懇の自主交流会として、園長交流会を開催しました。全国各地から約20名の参加がありました。

初めは集まりが悪く心配しましたが、16時



30分には20名ほどが集まり、会場がいっぱいになりました。飲み物とお菓子を用意し(お菓子は愛知と鹿児島から)、和気あいあいとした雰囲気となりました。企業型や小規模などの参加も多く、合研が多くの人たちを巻き込んで行われていること、その重要性をあらためて感じました。また、愛知・高知から公立園の参加もありました。

(報告：小西／担当：小西・愛甲・平野)

#### 【参加者の話より】

○北海道・こども園つみき。東部沖地震の震源地にある。4年副園長で今年から園長。初めて参加したが、熱意のある人たちに感動している。  
○兵庫・企業主導型。以前は西宮市の公立園で勤務。職員を守るのに必死。今、子どもは12

人。正規職員は3~4人。重度の身障児も。自分が園長になって、この3~4年やめた職員がいない。池添先生の講座に参加した。

○山梨・幼稚園型認定こども園。運営難で様々な事業を実施。アパートを借りて小規模事業所、預かり、児童発達支援、学童放課後児童デイ等。

### 来年は群馬で開催



次回は、2025年8月2~4日に群馬県高崎市で開催されます。

### 録画配信の活用を！

8月16日から1か月間録画配信期間があります。配信されるのは、基調フォーラム・講座・記念講演・開催地の劇・うたごえ交流会です。分科会・実技講座以外は、すべて配信されます。※フォーラムで保護者会にかかわった経験を報告したのは、経営懇会員園です。ぜひ、フォーラムも、再度ご覧ください。

#### ◆おすすめ1～保育制度シンポジウム

基調フォーラムをさらに深めるシンポジウム。テーマは「子どもの権利と保育制度の現状・課題」です(シンポジストは伊藤周平さん・大宮勇雄さん・逆井直紀さん・蓑輪明子さん)。参加者の質問も含め、皆さん熱く語っています。

#### ◆おすすめ2～記念講演・安田菜津紀さん

戦争がなければ平和なのか?取材で出会った人々の声や暮らしから、平和の意味を考える機会となりました。

#### ◆おすすめ3～保育・子育て講座

保育内容を中心に8つの講座が視聴できます。法人・園の状況に合わせて、一緒に視聴する講座を決めて視聴し、交流するのもいいですね!ミニミニ園内合研!?

#### ※配信期間からの申込みもできます。

お問い合わせ…合研事務局 03-6265-3171  
もしくは各地域の合研申込窓口まで。

## 各地の動き・各地のとりくみ

### ●埼玉の保育運動の歴史を学ぶ／ 埼玉経営懇学習会

埼玉経営懇では、7月17日に学習会を開催しました。埼玉経営懇の前会長で、(福)さやまが丘保育の会理事の牧裕子さんを講師に招き、「埼玉の保育運動の歴史 ～これからの引き継ぐ思い～」をテーマにお話いただきました。

当日は、県内全域から22名の参加がありました。参加者は、園長・理事長をはじめ法人役員が中心でしたが、これからの保育運動のために、若い職員にも参加してもらいました。会員園以外からの参加もありました。

1958年ごろからの年表を使って、埼玉の保育制度の状況や、要求運動について確認しました。革新県政の誕生で、保育制度が前進したが、現在は大幅に後退しており、国や自治体に現場の実態をもとに要望していくことが必要と、保育と政治は切り離せない、と語られました。コロナ禍をきっかけに、人と人との関りが希薄になるっている状況にも触れ、保育とは人と人を繋げる仕事であり、どんな時代でも語り続けること・伝えることが大切であると、現役世代を励ます講演となりました。

学習会参加をきっかけに、埼玉経営懇への入

会もありました。

### ●東京経営懇総会

東京経営懇は、6月17日に総会を開催しました。あわせて、鈴木宣弘さんを講師に招き学習会も開催しました。



対面とオンラインのハイブリッドで開催し、会場の保育プラザには34名の会員が集まりました。2024年度は研修・研究会をさらに充実させ、都への運動も強め、加入園100園を目標に仲間を増やしていこう、と確認しました。

### ●映画を楽しむ会／山形

山形の会員園では、映画を楽しむ会を企画しています。コロナ禍で控えていましたが、再開しているとのお便りが届きました。詳しくは、山形・はらっぱ保育園の阿部啓一さんまで。

(電話 023-646-6655)

## 🌿夏季セミナー2024(東京) ～会場にお越しください～

日時 2024年9月9日(月) 10:00～15:30

会場 KFC hall&rooms(東京都墨田区両国)

対面&オンライン／録画配信あり

テーマ 子どもたちに平和な社会を！

子どもの権利と発達保障を担う

保育園の役割を考える

<詳しくは同封の案内書をご覧ください>

\*会場の近くには江戸東京博物館、国技館があり、浅草もすぐ近くです。また、会場すぐ横には、関東大震災や東京大空襲の慰霊碑等がある横網公園があります。観光も兼ねて、ぜひ、会場にお越しください。

#### 【経営懇活動日誌・7月】

- 7月1日(月)事務局打ち合わせ
- 7月6日(土) 合研常任・常任幹事会合同会議。合研集会の参加組織など。
- 7月8日(月)三役会。総会を受けて来年度の活動の具体化にむけて。
- 7月12日(金)一般社団法人化説明会。
- 7月17日(水)主任セミナーに向けて担当役員打ち合わせ
- 7月25日(木)兵庫経営懇で主任部会(主任セミナー開催に向けた打ち合わせも始まる)
- 7月27～29日(土～月)第56回合研集会

#### 同封資料

- ・夏季セミナーご案内
- ・人事院勧告・報告の概要

★お願い 2024年度会費をまだ納入されていない方は、お早めにお振込みください。